

大分県公立高校入試徹底分析【社会】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	60点
問題構成	大問5題。大問1は、世界地理と日本地理。大問2は、歴史は世界史を一部含み、古代～近現代。大問3は、公民。大問4は、地理・歴史・公民の融合問題。大問5はグローバル化をテーマにした地理・歴史・公民の融合問題が見られた。 地理は、大問1で13点、大問4で2点、大問5で5点の計20点 歴史は、大問2で15点、大問4で4点、大問5で3点の計22点 公民は、大問3で16点、大問4で2点の計18点		

	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)
問題量 (A4で)	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分
小問数	40問	39問	39問	37問	40問
論述問題の数	6問	9問	7問	7問	8問
論述問題配点	12点	18点	14点	15点	16点
受験者平均点	32.3点	25.1点	28.5点	35.1点	26.9点

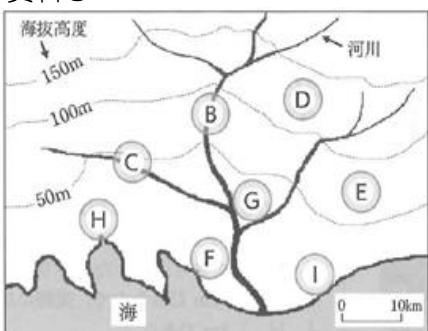
【出題の傾向と対策】

①地図の読み取り問題が出題されるので、図や資料を用いた問題を数多く解いておく。

R3 5

(2) (略) 資料3は河川水系の模式図を示したものである。模式図中の地点B～Iにおける災害や防災について述べた文として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、記号を書きなさい。なお、模式図以外の条件は考えないものとする。

資料3



ア BよりもCの方が、同じ規模のダムを建設した際に、洪水を防ぐ効果が高い。

イ DよりもEの方が、同じ面積の森林を伐採した際に、河口部で洪水の危険性が高くなる。

ウ FよりもGの方が、堤防で囲まれた輪中が形成されやすい。

エ HよりもIの方が、津波の被害が大きくなる可能性が高い。

① ただ資料を読み取るだけでなく、資料から地理的条件を考え、さらに選択肢の正誤を判断することが必要。知識だけでなく、思考力、読解力が問われる出題。

②教科書に掲載されている資料や図などを意識しながら学習する。

R6 2

(4) (略) 琉球王国が資料4中の「万国のかけ橋」と自ら名乗っている理由を「貿易」の語句を用いて、15字以内で書きなさい。

資料4

琉球国は南海の景勝の地にあり、…中国や日本とは親密な関係にある。この二つの国との間にあってわき出る理想の島である。船をもって万国のかけ橋となり、外国の産物や宝物が至るところに満ちている。

② 資料4は15世紀に尚氏が首里城正殿にかけさせた鐘の銘文である。このような教科書に掲載されている図や写真を使って答えを求める知識が必要である。

③必要な情報は何かを考える問題も出される。資料から何が読み取れるか考える癖をつける。

R4 4

太郎さんと花子さんは、「経済のグローバル化」というテーマで探究学習を行った。次は二人の会話文である。(略)

太郎：現在の日本は、貿易によって高い経済力を維持している貿易中心の国であると言えますね。

花子：しかし、c この資料から考えると、必ずしも貿易中心の国とは言えないのではないかでしょうか。

(3) 下線部cに関連して、花子さんは資料3中のア～オのうち2つのデータを組み合わせて太郎さんに反論した。花子さんが用いたデータとして適当なものを、ア～オから2つ選び、記号を書きなさい。

資料3

	ア	イ	ウ	エ	オ
	人口密度 (人/km ²)	輸入額 (百万ドル)	1人当たり 国内総生産 (ドル)	1人当たり 輸出額 (ドル)	経済成長率 (%)
日本	330.1	720,803	40,063	5,562	0.3
韓国	510.5	502,758	32,143	10,592	2.0
タイ	135.7	238,924	7,785	3,524	2.3
オランダ	411.6	635,678	53,053	41,445	1.7
ドイツ	233.7	1,233,978	46,232	17,834	0.6
メキシコ	64.9	482,613	9,849	3,611	-0.1

(注)統計年次は2019年。

(『世界国勢図会2021/22』他より作成)

③日本の経済が貿易中心で回っているわけではないことを示すデータは何か考える必要がある。

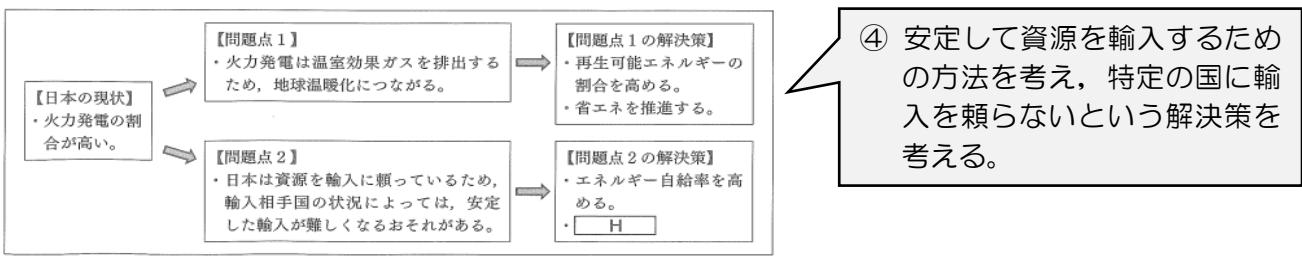
④思考力と表現力が問われる所以、普段から読み取りや論述系の問題に慣れておく。

R5 5

(4) ②

太郎さんは、日本の資源・エネルギー問題とその解決策について資料5にまとめた。資料5中のHに当てはまる内容を1つ書きなさい。ただし、資料5中に示されている解決策と同じ内容は書かないこと。

資料5



④安定して資源を輸入するための方法を考え、特定の国に輸入を頼らないという解決策を考える。

解答

R3 5 (2) ウ

R6 2 (4) (例) 中継貿易を行っていたから。

R4 4 (3) ウ・エ

R5 5 (4) ② (例) 輸出相手国を増やす。